

## 平成16年度 国有林野事業の決算概要について

平成17年9月

林 野 庁

平成16年度における国有林野事業については、抜本的改革の基本方針に基づき森林の公益的機能の発揮と財務の健全性の回復に努めた結果、新規借入金からの脱却など収支が改善されるとともに、損失の縮減が図られた。

## 1 収支

## (収入)

- ① 事業収入については、長引く木材価格の低迷、土地需要の減退等の中で、廃止分局跡地の売払や資産の徹底した見直しによる土地の売払を進めるなど収入の確保に努め、前年度より12億円増加
- ② 一般会計より受入については、事業施設費財源の受入増加等から前年度より130億円増加
- ③ 借入金については、新規借入金はゼロ（前年度179億円）

## (支出)

- ④ 人件費については、職員数の適正化に努め前年度より73億円減少
- ⑤ 事業的経費については、地球温暖化防止等に資する森林整備の推進及び公益林の保全管理の充実等のため、前年度より62億円増加

こうしたことから、収入3,461億円に対し、支出は3,434億円となり、平成16年度の収支差は+27億円となった。

## 2 損益

委託化の推進等効率的な事業実行による事業関係経費及び一般管理費の縮減、一般会計より受入の増加等により、損益計算上の損失は前年度より212億円減少の294億円となった。